


3-④-① こんな町 めざそう！ どんなこと できそう？

■対象：地域住民 ■人数：20人 ■時間：60分程度 ■手法：フリップ・ディスカッション

学習のねらい 地域のよい面や問題点、困っていること等について話し合うことで、地域の未来のために何ができるかを考えることができる。

時間	学習の流れ	留意点	準備物
	<p>【はじめに】</p> <p>今日は、この町を住みよい町にしていくために、自分たちで何ができそうか考えていきます。 それでは、その前に少し心と体をほぐしましょう。</p>		
20分	<p>【アイスブレイク】</p> <p>① 何に見えるかな</p>  <p>② 自己紹介 ・地域の好きなところ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、個人で、次は、4人のグループで考える。 ・個人よりグループで考える方が多く見つけることができることを体感し、この後のワークのねらいにつなげる。 ・まず、フリップに一言で書き、その後グループで自己紹介する。 	<p>バインダー A4用紙 色マーカー</p>
30分	<p>《はじめにルールとマナーを確認しましょう》</p> <p>【中心のワーク】</p> <p>① 地域の現状について「よいところ」をフリップに書き、グループで意見交換をする [6分]</p> <p>② 「問題点・困っているところ」をフリップに書く [5分]</p> <p>③ グループで意見交換をする [5分]</p> <p>④ 「〇年後、どんな地域になってほしいか」をフリップに書く [2分]</p> <p>⑤ グループで意見交換をする [5分]</p> <p>⑥ 「そのために必要なこと」(課題)をフリップに書く [2分]</p> <p>⑦ グループで意見交換をする [5分]</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が感じていること以外に、人から言われたことがある内容を加えてもらってもよい。 ・話し合いの間、ファシリテーターは、グループをまわり、意見をメモし、ホワイトボード等に整理する。 ・「めざす地域」は、「3年後」「5年後」「10年後」等と、グループで選んでもらってもよい。 ・「そのために必要なこと」(課題)は、実現性で考えるのではなく、自由な発想で考えてもらう。 	<p>ホワイトボード</p>
10分	<p>【ふり返りと分かち合い】</p> <p>① 「自分たちでやってみたいこと」をフリップに書く</p> <p>② グループで発表し合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に広げたいことは、積極的に取り上げる。 	
	<p>【おわりに】</p> <p>いかがでしたか。地域には、問題点や困っていることもあるとは思いますが、やってみたいことを考えることで、めざす地域に一步近づく第一歩となったのではないかと思います。まずは、できることから取り組んでいきましょう。</p>		